

ひと、くらし、
みらいのために

せみね監督署だより

発行 瀬峰労働基準監督署（所在地：栗原市瀬峰下田50-8 電話：0228-38-3131）

令和7年は死亡災害0、休業災害も大幅減少に

▶本号では、積雪・凍結による転倒災害防止の注意喚起と2月の化学物質管理強化月間についてお知らせいたします。

▶瀬峰署管内における休業4日以上労働災害発生状況等についてお伝えします。

令和7年1月から12月までの瀬峰署管内の休業4日以上の死傷者数は、下記のとおり今年12月末時点においては、前年同期比11人減少、率にして7.1%と大幅に減少しており、死亡災害も令和5年に続いて0件となっています。

業種別では、前月より若干減少したものの、建設業の死傷者数が52.2%増となっており、木造家屋建築工事業は175%増と依然として高い状況にあります。また、商業が87.5%増、通信業が200%増と依然として高い状況となっており、金融・広告業も100%と災害が大幅に増加しています。1月から2月にかけて、1年で最も寒くなる季節です。裏面の積雪・凍結による転倒災害防止のリーフレットにも記載されておりますが、当署管内において令和7年1月から3月に発生した滑りによる転倒災害を見てみると、約82%が午前中に発生しています。滑りによる転倒災害防止のため、事前に翌日の最低気温や気象状況を確認し、関係者に注意喚起を行うなどにより転倒災害防止を図ってください。

瀬峰署管内の労働災害発生状況

令和8年1月8日現在

※休業4日以上（新型コロナウイルス感染症を除く）

業種別	令和6年		令和7年		前年同月増減			
	1月～12月		1月～12月		死傷		死亡	
	死傷者数	死亡	死傷者数	死亡	増減数	増減率	増減数	増減率
全産業	156	3	145		-11	-7.1%	-3	-100.0%
製造業	42		25		-17	-40.5%		
鉱業	1				-1	-100.0%		
建設業	23	1	35		12	52.2%	-1	-100.0%
運輸交通業	10		8		-2	-20.0%		
貨物取扱業								
農業	5		3		-2	-40.0%		
林業	10	2	4		-6	-60.0%	-2	-100.0%
畜産・水産業	9		5		-4	-44.4%		
商業	16		30		14	87.5%		
金融・広告業	1		2		1	100.0%		
映画・演劇業								
通信業	2		6		4	200.0%		
教育・研究業	2		1		-1	-50.0%		
保健衛生業	23		18		-5	-21.7%		
接客娯楽業	4		1		-3	-75.0%		
清掃・と畜業	3		2		-1	-33.3%		
官公署								
その他の事業	5		5					

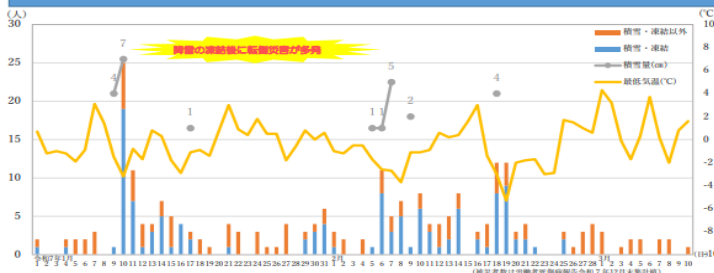
「積雪・凍結による転倒災害防止」の注意喚起

事業主の皆さまへ

積雪・凍結による転倒災害を減らしましょう！

宮城労働局管内では、例年冬季に積雪・凍結に起因した転倒災害が多発しています。令和7年においても1月から2月に発生した休業4日以上転倒災害218人のうち、積雪・凍結に起因するものが54.6%（119人）を占めている状況です。冬季における転倒災害の減少を図るために、冬季特有の転倒災害の防止対策の実施をお願いします。

宮城労働局管内の転倒災害（休業4日以上）の発生状況（令和7年1月～3月上旬）

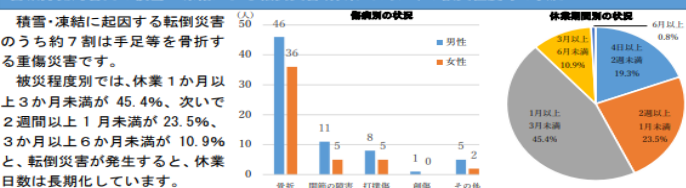


令和7年は、1月9日から10日にかけて大雪となり、仙台では積雪7cmを記録し、積雪・凍結に起因する転倒災害が大幅に増加しました。雪が解け始めたら路面凍結の可能性が高く、特に注意が必要です。最低気温が氷点下となる日は凍結による転倒災害が多くなっています。

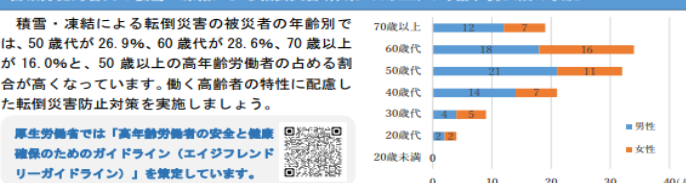
宮城労働局管内の転倒災害（休業4日以上）の発生時間帯別の状況（令和7年1月～2月発生分）



宮城労働局管内の積雪・凍結による転倒災害（休業4日以上）の被災程度等の状況



宮城労働局管内の積雪・凍結による転倒災害（休業4日以上）の年齢、男女別の状況



冬季における（積雪・凍結による）転倒防止対策について

- 転倒災害は、降雪や低温の日が多い年に増加します。降積雪が本格化する前に、冬季における転倒災害防止対策について準備をしましょう。
- 気象情報の活用によるリスク低減の実施**
- 大雪、低温に関する気象情報を迅速に把握する体制の構築
 - 警報・注意報発令時等の対応マニュアルの作成、労働者への周知
 - 気象状況に応じた出張・作業計画等の見直し
- 通路・作業床の凍結等による危険防止の徹底**
- 屋外通路や駐車場における除雪、融雪剤の散布による安全通路の確保
 - 事務所への入室時における靴裏の雪・水分の除去、凍結のおそれのある屋内の通路、作業場への温風機の設置等による凍結防止策の実施
 - 屋外通路や駐車場における転倒災害のリスクに応じた「危険マップ」の作成、労働者への周知
 - 凍結した路面、除雪機械通過後の路面等における荷物の運搬方法・作業方法の見直し
 - 凍結した路面や凍結のおそれがある場所（屋外通路や駐車場等）での滑りにくい靴の着用の実施
- 厚生労働省と労働災害防止関係団体は、休業4日以上死亡災害でも最も件数が多い転倒災害を減少させるため、転倒災害防止対策を推進しています。
- 職場の現状を確認して、必要な改善をしましょう！

宮城労働局・各労働基準監督署

(R8. 1)

「2月の化学物質管理強調月間」のご案内

換気せずに
トイレ清掃中に
洗浄剤を使って
フッ化水素中毒に

施設の壁清掃に
原液のままカビ取り用洗剤を
使って呼吸困難に

あなたの職場にいますか？

化学物質管理者

殺虫剤が散布作業中に
不十分な保護具で体に付着し
有機リン中毒に

美容院で毛染め剤を素手で
使って皮膚にかぶれ

労働安全衛生法令の改正により、令和6年4月から業種・事業規模を問わず、化学物質管理者の選任やリスクアセスメント等に基づく適切な管理等が義務付けられています。

この機会に化学物質の管理方法について点検していただき、問題が認められた場合は改善を行ってください。

詳細はこちら→
をご覧ください



慣れた頃こそ再確認 化学物質の扱い方

2月は化学物質管理強調月間

関連情報は
特設サイトへ



労働安全衛生関係法令の改正により、令和6年4月から業種・事業規模を問わず、化学物質管理者の選任やリスクアセスメント等に基づく適切な管理等が義務付けられています。

